


24	11:00	フレンチ・カンカン	13:05	河	15:05	永遠のガビー	16:50	曳き船	18:35	魅せられて	20:20	快樂
25	11:00	不思議なヴィクトル氏	13:00	毒薬	14:45	情婦マノン	16:50	幸福の設計	18:40	白い足	20:45	浜辺の女
26	11:00	大いなる幻影	13:15	黄金の馬車	15:15	偽れる装い	17:25	この空は君のもの	19:30	たそがれの女心		
27	11:00	エドワールとキャロリーヌ	12:50	曳き船	14:35	フレンチ・カンカン	16:40	永遠のガビー	18:25	輪舞	20:20	魅せられて
28	11:00	河	13:00	赤い手のグッピー	15:05	黄金の馬車	17:10	フレンチ・カンカン	19:15	恐怖の報酬		
29	11:00	ランジュ氏の犯罪	12:40	殺人者にスポットライト	14:35	ジュデックス (フランジュ)	16:35	あなたの目になりたい	18:25	エストラパード街	20:25	南部の人
30	11:00	セザール	13:40	偽れる装い	15:50	肉体の冠	17:50	この空は君のもの	19:55	赤い手のグッピー		
31	11:00	毒薬	12:45	不思議なヴィクトル氏	14:45	殺人者にスポットライト	16:40	フレンチ・カンカン				

1/1 終日休館

2	11:00	肉体の冠	13:00	ランジュ氏の犯罪	14:40	この空は君のもの	16:45	黄金の馬車				
3	11:00	赤い手のグッピー	13:05	ジュデックス (フランジュ)	15:00	黄金の馬車	17:05	河	19:05	白い足		
4	11:00	高原の情熱	13:10	不思議なヴィクトル氏	15:10	フレンチ・カンカン	17:15	情婦マノン	19:20	曳き船		
5	11:00	曳き船	12:45	永遠のガビー	14:30	毒薬	16:15	赤い手のグッピー	18:20	魅せられて	20:10	エドワールとキャロリーヌ
6	11:00	エストラパード街	13:00	フレンチ・カンカン	15:05	南部の人	16:55	この空は君のもの	19:00	偽れる装い		
7	11:00	曳き船	12:45	白い足	14:50	情婦マノン	16:55	永遠のガビー	18:40	浜辺の女	20:10	エストラパード街
8	11:00	あなたの目になりたい	12:50	魅せられて	14:40	たそがれの女心	16:40	毒薬	18:25	肉体の冠	20:25	輪舞
9	11:00	ジュデックス (ファイヤード) *2回の休憩あり					17:25	ジュデックス (フランジュ)	19:25	南部の人		
10	11:00	幸福の設計	12:50	大いなる幻影	15:05	偽れる装い	17:15	赤い手のグッピー	19:20	黄金の馬車		
11	11:00	恐怖の報酬	13:30	河	15:30	南部の人	17:20	この空は君のもの	19:25	不思議なヴィクトル氏		
12	11:00	快樂	12:55	エストラパード街	14:55	自由への闘い	17:00	偽れる装い	19:10	情婦マノン		
13	11:00	情婦マノン	13:05	不思議なヴィクトル氏	15:05	魅せられて	16:55	浜辺の女	18:25	永遠のガビー	20:10	河
14	11:00	永遠のガビー	12:45	エドワールとキャロリーヌ	14:35	白い足	16:40	忘れじの面影	18:25	南部の人	20:15	エストラパード街
15	11:00	偽れる装い	13:10	セザール	15:50	黄金の馬車	17:55	情婦マノン	20:00	不思議なヴィクトル氏		
16	11:00	浜辺の女	12:30	南部の人	14:20	情婦マノン	16:25	魅せられて	18:15	快樂	20:10	あなたの目になりたい
17	11:00	赤い手のグッピー	13:05	高原の情熱	15:15	この空は君のもの	17:20	河	19:20	偽れる装い		
18	11:00	たそがれの女心	13:00	不思議なヴィクトル氏	15:00	エストラパード街	17:00	恐怖の報酬	19:30	赤い手のグッピー		
19	11:00	魅せられて	12:50	この空は君のもの	14:55	曳き船	16:40	毒薬	18:25	忘れじの面影	20:10	永遠のガビー
20	11:00	黄金の馬車	13:05	曳き船	14:50	浜辺の女	16:20	幸福の設計	18:10	河	20:10	この空は君のもの

21	11:00	殺人者にスポットライト	12:55	毒薬	14:40	偽れる装い	16:50	ランジュ氏の犯罪	18:30	魅せられて	20:20	浜辺の女
22	11:00	肉体の冠	13:00	赤い手のグッピー	15:05	輪舞	17:00	河	19:00	自由への闘い		
23	11:00	大いなる幻影	13:15	曳き船	15:00	南部の人	16:50	不思議なヴィクトル氏	18:50	情婦マノン		
24	11:00	快樂	12:55	黄金の馬車	15:00	幸福の設計	16:50	浜辺の女	18:20	エドワールとキャロリーヌ	20:10	永遠のガビー
25	11:00	この空は君のもの	13:05	偽れる装い	15:15	自由への闘い	17:20	輪舞	19:15	情婦マノン		
26	11:00	あなたの目になりたい	12:50	魅せられて	14:40	曳き船	16:25	永遠のガビー	18:10	快樂	20:05	河
27	11:00	黄金の馬車	13:05	南部の人	14:55	不思議なヴィクトル氏	16:55	赤い手のグッピー	19:00	セザール		

<p>ルイ・ファイヤード(1873-1925)</p> <p>アンリ・ラングロワ主催のシネマテーク・フランセーズの上映会で連続活劇が紹介され、リヴェットやレネなどヌーヴェル・ヴァーグの作家が大いに影響を受けた。特にリヴェットは『セリーヌとジュリー』での二人の黒装束を『レ・ヴァンピール』のイルマ・ヴェップ風にし、ファイヤードにオマージュを捧げた。</p>	<p>ジャン・ルノワール(1894-1979)</p> <p>アンドレ・バザンが当時「存命中の監督としてはフランスで最も偉大な監督」と称賛し、ヌーヴェル・ヴァーグの面々から「カイエ・デュ・シネマ」の「パリ解放後のフランス映画ベスト」(1965年1月号)に選出されるなど映画の父として仰がれた。1971年アンドレ・バザンの遺稿をフランソワ・トリュフォーが編集した「ジャン・ルノワール」を発行。フィルモグラフィはゴダールやリヴェットが担当した。</p>	<p>マックス・オフルス(1902-1957)</p> <p>ヌーヴェル・ヴァーグの監督らから熱狂的に支持され、多くのオマージュを捧げられている。特にジャック・ドゥミはデビュー作『ローラ』を“マックス・オフルスに捧げ”『快樂』の音楽を用いた。ヌーヴェル・ヴァーグ全員がオフルス監督作を「カイエ・デュ・シネマ」の「パリ解放後のフランス映画ベスト」(1965年1月号)に選出した。</p>
<p>サッシャ・ギトリ(1885-1957)</p> <p>戦後も演劇人扱いされ、また思想的にも左派から糾弾されていたギトリをトリュフォーが熱烈に擁護。トリュフォーとジャン・ドゥーシェは「カイエ・デュ・シネマ」の「パリ解放後のフランス映画ベスト」に『毒薬』を選出。</p>	<p>ジャン・グレミオン(1901-1959)</p> <p>シネマテーク・フランセーズの館長を務めたが(1943~58)、その評価は遅れ、呪われた映画作家として知られる。ヌーヴェル・ヴァーグのゆりかごと言われるコクトー、バザンらのシネクラブ「オブジェクティブ49」主催「呪われた映画祭」の賛同人。ゴダールが熱狂的に支持したと言われている。ごく最近「カイエ・デュ・シネマ」誌はグレミオン特集を組んだが、「1950年代の「カイエ」はなぜグレミオンを無視したのか」というインタビューで、ジャン・ドゥーシェは当時を振り返り、グレミオンがルノワールと並ぶ最も偉大な映画作家であることは自明だったが、他誌(「ルヴュ・デュ・シネマ」)が盛んに擁護していたためグレミオンを忘れてしまったと語っている。</p>	<p>ジャック・ベッケル(1906-1960)</p> <p>ルノワールと少年時代から親交があり30年代に彼の助監督を務めたベッケルをトリュフォーは映画作家として擁護、またベッケルもヌーヴェル・ヴァーグの作家たちと交流が深かった。ゴダールは追悼文で“ジャック兄”と呼びかけ「フランス映画を撮るのに真にフランス式であり続けたのはジャック・ベッケルただ1人だけだった。」との賛辞を捧げた。</p>
<p>マルセル・パニョル(1895-1974)</p> <p>国民的映画作家であったギトリやパニョルの作家性を再評価したのがヌーヴェル・ヴァーグである。アンドレ・バザンは「映画とは何か」で「パニョルは映画に転向した劇作家ではなく、トーキー映画の偉大な作家なのだ」と書いている。</p>	<p>アンリ=ジョルジュ・クルーゾー(1907-1977)</p> <p>少年時代のトリュフォーが『密告』に夢になったという。ヌーヴェル・ヴァーグの時代にはたびたび批判にもさらされたが、『ミステリアス・ピカソ 天才の秘密』はトリュフォー、バザンが絶賛、ゴダールが『映画史』で引用した。</p>	<p>ジョルジュ・フランジュ(1912-1987)</p> <p>ラングロワと並ぶシネマテーク・フランセーズの共同創始者。『壁にぶつかる頭』はゴダール、トリュフォー、リヴェット、シャブロール、ドゥミ、アラン・レネ、ジャック・ロジェが揃って59年のカイエのベスト10に入れる絶賛ぶり。ゴダールは『ジュデックス』を映画史に引用している。</p>

<p>料金</p> <p>一般: 1200円 シニア: 1000円 会員: 800円 大学・高校生: 600円</p> <p>※一本立て、入れ替え制</p>	<p>字幕作成協力: Kevin Mcgue 字幕翻訳: 平沢直子、上條葉月、十文字素子、橋本裕充、大村望、樺沢優希 チラシデザイン: 山本アマネ</p>	<p>特別上映</p> <p>ジョルジュ・フランジュ『ジュデックス』 『殺人者にスポットライト』 料金: 1400円均一</p> <p>ルイ・ファイヤード『ジュデックス』 *2回の休憩あり 料金: 2500円均一 *ポイント鑑賞・加算不可</p>	<p>次回予告</p> <p>生誕100年記念 映画作家・井上梅次</p> <p>映画全盛期に全製作会社で活躍。110本を超える作品を撮り、香港映画にも進出した大監督の作家性に迫る!</p> <p>1月28日(土)~2月17日(金)</p>	 <p>東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 4F TEL: (03) 3461-7703 http://www.cinemavera.com</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------